

ラフルが地域に向けて行っていること

青葉区地域子育て支援拠点ラフルは、0歳児～未就学児とその家族・妊婦さんとその家族 及び 支援者に向けて、7つの事業を展開しています。その中には、地域に向けて『子育て支援への理解を深めていく』役割や『子育て家族を取り囲む地域の方と連携する』役割もあります。今回は、【ラフルが地域に向けて行っていること】をご紹介します。

オープンティ

毎月第4土曜日 9:30～10:30 地域の方に向けた、自由見学と説明をしています。地域子育て支援拠点を見てみたい・気になっていたという方は、一度いらしてみませんか。時間内、受付で記名していただいている見学の予定です。



定期清掃・パンの販売

障がい児者の保護者や地域の方によるグループ『ジョブコーチプラス1』に定期清掃を依頼しています。中学生以上の障がいをもった方の職業体験のひとつとして、ラフルの清掃をしていただいています。又、障がいをもった方々の作業所『あおば地域活動ホームすてっぷ』に、毎月2回、ラフルのひろばでパンの販売をしていただいています。パンを作り消費者に販売する一連の行程を、地域活動ホームのスタッフに援助されながら丁寧に行っています。ラフルでは、子育てをしている皆さんに、地域のいろいろな活動や障がいへの理解を深めていただく機会として、今後も依頼を継続していきたいと思っています。



AED (自動体外除作動器) の設置

ラフル事務室内にAEDを設置しています。館内利用の方だけでなく、近隣周辺で何か起きた時も地域の方に活用していただきたいと思います。

祖父母世代・中高大学生など次世代向けの講座

子育て中のパパママだけでなく、地域の祖父母世代の方や中高生・大学生など次世代の方に向けた講座開催や実習の受け入れを行っています。祖父母向け講座では、今の子育ての現状や子育て支援の必要性を理解し、祖父母世代の思いや悩みを聞き、サポートする機会にもなっています。若い世代には、小さな命の大切さや、自分が大切に育てられてきた親の思いに触れる機会として位置づけています。

2016年3月

広場カレンダー

ラフルでは、火～土(10時～16時)の毎日「ひろば」を開いています
いつでも相談ができるスタッフがいます

《ラフル広場カレンダーアイコンの見方》



専門の相談員にも相談できる日



双子を持つ先輩ママもいる日



障がい児を持つ先輩ママもいる日



センター保育士さんもいる日

火	水	木	金	土
1 ●広場ゲスト 「子育てサークル・かるがもサークル」 お昼前10分程度	2 ●広場ゲスト 「子育てサークル・チェリーキッズ」 お昼前10分程度	3 ひな祭り ミニミニコンサート 13:30～ 30分程度	4 ●広場ゲスト 「子育てサークル・かるがもサークル」 お昼前10分程度	5 ●パパの子育て教室 9:40～11:30 (対象:青葉区在住のはじめてパパ・ママになる方) ●公園へGO! 13:30～1時間程度
8 地域活動ホームすてっぷのパン販売(お昼頃20分程度)	9 ●子育てサポートシステム入会説明会 10:30～11:30 研修室にて要予約	10	11 ●広場ゲスト「子育てサークル・びよびよ倶楽部」 お昼前10分程度	12
15 ●公園へGO! 10:30～1時間程度	16	17 ●みんなで話そう「入園、復職、引っ越し...新しい生活を前に不安な気持ち」 14:00～20分程度	18 ●ちょこっと見学DAY 10:00～12:00	19 ●パパ・ママになる人あつまれ～ 11:00～1時間程度
22	23	24 ●子育て講座「乳幼児のいる家庭の防災」 14:00～20分程度	25 ●公園へGO! 10:30～1時間程度	26 ●OPEN DAY 9:30～10:30 ●子育てサポートシステム入会説明会 10:30～11:30 研修室にて要予約
29	30	31		地域の方へ ●子どもの発達に関する相談もできる日 13:30～15:30



青葉台地域ケアプラザ
3月2日(水) 10:00～12:00

荏田地域ケアプラザ
3月11日(金) 10:00～12:00

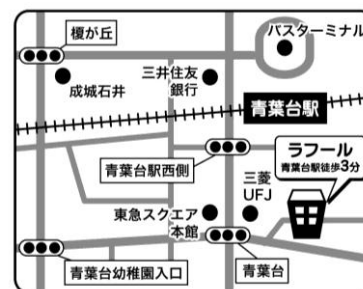


横浜子育てサポートシステム出張説明会 要予約 TEL: 482-5518

●青葉台地域ケアプラザ 3月22日(火) 10:30～11:30

～ラフルへのアクセス～

〒227-0062 青葉区青葉台1-4 6階
(東急田園都市線「青葉台駅」徒歩3分)
TEL: 045-981-3306 FAX: 045-981-3307
横浜子育てパートナー 相談専用 TEL: 045-479-5810
横浜子育てサポートシステム青葉区支部専用
TEL: 045-482-5518 火曜日～土曜日 9時～17時
●ホームページ <http://lafull.net>
●駐車場はありません●休日/日曜・月曜・祝日・年末年始



青葉区地域子育て支援拠点

3月号

2016年 vol.56

0歳から未就学児&妊婦さんとその家族/子育て支援に関わる方のための通信

ラフル

ニュース

地震対策

- ◆ラママトーク
- ◆みんなどうしてる?



ラフルは
7つの♥を行っています!

- ひろば
- 子育て相談
- 情報の収集と提供
- ネットワーク
- 人材の育成
- 横浜子育てサポートシステム
- 利用者支援

青葉区地域子育て支援拠点 ラフルは、青葉区の委託を受けて特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ パレットが区と協働で運営しています。

発行日: 2016年3月1日 発行元: 青葉区地域子育て支援拠点ラフル 施設長 山田範子

こんな対策をしています！

- ・ガラス飛散防止に食器棚へシートを貼りましたが見た目にもわからず良いです。フォーク等の引き出しも対処したいです。
- ・主人がアウトドア好きでいざというときはキャンプ道具も役立つそうです。普段は押入れて場所をとっているんですけど。
- ・オムツは多めに買っておくようにしています。
- ・ちょっと遠出する時は、オムツやおやつを多めに持参すると安心。
- ・自治会で小さいLEDの懐中電灯が配布されました。いざという時、これは使えそうです！
- ・震災時避難所になっている中学校を見に行ってみたら急な上り坂でした。子どもを抱えて行くのは大変そうだな…と思いました。
- ・夫と避難時の待ち合わせ場所を確認しました。
- ・東北の震災時に5歳だった子どもはほとんど記憶にないと言います。大変だったことを忘れないように、話して伝えるようにしています。
- ・災害時、配られる食事はパンが多いと聞いたので、なるべくお粥などの米類を中心に保存食としています。
- ・子どもが豆も好んで食べるようになったので保存食リストに加えました。



出来ていないこと、これからやろうと思う事

- ・一年前、今年は家の中の地震対策をするぞ！と目標を立てましたが、結局、日々に追われて、実行できませんでした。
- ・家具の転倒防止。
- ・夫といざという時の待ち合わせ場所などを話し合おうと思ってもなかなか出来ず。怖かった記憶もかなり薄れてきています。
- ・災害時伝言ダイヤルのやり方を忘れていたので、一度、家族と一緒に確認したいな。
- ・水、オムツ、缶詰、子どもが食べられるものなど、多めに備蓄しておきたい。
- ・収納の見直し。瓶など落ちたら割れそうなもの、危ないものをなるべく安全な場所に移すこと。
- ・まだ幼稚園、保育園には通ってないけれど、非常時の対応も頭に入れて園選びした方がいいのかな？
- ・日々、増えていく子どものおもちゃや衣類。非常時に散乱していると怪我の原因にもなるので、今年は収納を見直したいです！
- ・ミカンの皮とオリーブオイルでキャンドルが作れるとか。身近なもので、非常時に役立つものを覚えておきたいです。

広場内企画 『みんなで話そう！』

皆さんは「みんなで話そう！」に参加されたことはありますか？この企画は、同じ悩みを抱えている子育て中の方どうしのおしゃべり会です。講師や先生の話はありませんが、「イヤイヤ期」「叱り方」「きょうだい育児」など、みんなが気になるテーマでおしゃべりする企画です。同じ立場の人とおしゃべりする中で何かヒントが得られるかもしれません。自分の思いを誰かに話すだけで、気持ちが少し楽になるかもしれません。また、いつもおしゃべりしているママ友とは別の人とお話することで、新しい発見があるかもしれません。

知らない人といきなり話すのはちょっと…と躊躇される方も大丈夫。7人程度の少人数、しかもスタッフも同席させていただきますので、お子さんを傍らで遊ばせながら、普段のおしゃべりの延長として気軽にご参加いただければと思います。

ちなみに、3月のおしゃべり会のテーマは

『入園、復職、引っ越し…新しい生活を前に不安な気持ち』です。

3月17日 木曜日 14時から30分程度 要予約 先着7組

この時期、新しい生活のスタートを迎え、ざわざわした落ち着かない気持ちを抱えている方も多いのではないのでしょうか。是非ご参加ください。

また、「みんなで話そう！」企画のテーマは随時募集しています。こんなことをみんなで話したいというものがありましたら、スタッフにお声をおかけください。

ラフールの広場では定期的に地震や火災を想定した避難訓練をしています。地震の場合、揺れがおさまるまで広場の安全な場所で待機します。その時にはママ・パパは子どもを守る「だんご虫のポーズ」をとります。揺れがおさまったら状況を確認し、その場で待機するか避難するかスタッフが指示をしますので落ち着いて行動して下さい。訓練の際には皆さんの協力をお願いします。

だんご虫のポーズ



親として防災を見直し、家庭で確認し合う機会として広場内で「子育て講座」を行います。是非ご参加ください。予約は要りません。
3月24日(木) 14時～20分程度。
「乳幼児のいる家庭の防災～親として知っておきたい事～」
講師：男女共同参画横浜北アートフォーラム 浜本氏

対策はしたけれど…

- ・先日、保存水の期限が切れていることが発覚！もう一年くらい大丈夫だった気がしたのに…。
- ・非常食として、レトルトカレーや缶詰やおせんべいなどは常備していますが、おせんべいはすぐに食べられてしまいます…。
- ・子ども目線にある扉の開閉ストッパー、イタズラ盛りの息子に見事に壊されました！



大きな地震が起きたらどうしよう…不安なこと

- ・自宅から避難する事態になったら、貴重品や子どものものなど、何を持って行ったら良いのかな。
- ・電気、ガス、水道が止まったら、パニックになりそう！
- ・夜間、大地震がきたら、冷静に対応できるか不安。
- ・子連れで遠出している時に、地震にあったら、怖いです。
- ・電車で出かけていて、電車が止まってしまったとき、子どもとどうやって帰ろうかと思いました。
- ・抱っこ抱っこでお出かけにはまだベビーカーが必要で、避難時にちゃんと歩いてくれるか心配です。
- ・主人の職場が避難所指定されていて非常時は帰って来ることができないので、何かあれば一人で子どもと頑張らないといけな。ちょっと心細い。
- ・避難所で子連れはまわりに迷惑かけそうでストレスがたまりそう。自宅にいるって可能なかな？ 避難所に行くか自宅か、どちらが良いのか悩みます。



みんなどうしてる？



子どもがべったり甘えてくる…くっついて来て離れない…そんな時、わずらわしいと思う時がある。私…いいのかなあ～

- ・「今だけよ～」と先輩ママに言われたけど、「今だけなのかなあ、今が大変なのに…」と思います。
- ・夫や祖父母にお願いして、友達に会う、美容院、買い物などちょっと気分転換しています。
- ・その気持ちすごくわかります。心の中で「いい加減にして～！」と叫んでしまいます。
- ・つらい時は子どもの好きなビデオやテレビを見せて、離れる時間を作っています。
- ・24時間母親で居なくてはいけないと思うとうんざりすることも。ひとりの時間が欲しい…です。
- ・「ママは大人気！いいなあ」と子どものいない妹に言われ新鮮な気持ちに。それからは「人気者、人気者」と心の中で唱えています(笑)。
- ・子どもがわずらわしいと思う時…私もあります。寝顔、愛おしいのに…。



預かり保育や子サボも利用してね



子サボコラム

地域の中でお子さんを有償で預けたり、預かったりするための仕組みです。預けたい方(利用会員)と、預かる方(提供会員)の出会いをコーディネートします。原則として、提供会員が利用会員の自宅でお子さんを預かります。

暖かくなってきました。春は新入園、新入学、就職……など新しい環境での生活がスタートする季節でもあります。ワクワク、ドキドキ、心弾むだけでなく、新生活を迎えるにあたって不安や心配もあるかもしれません。「学校行事に下の子を連れていけるかしら?」「保育園のお迎えに間に合うように仕事が終わるかしら?」「産前産後に上の子の送り迎えができるかしら?」そんな時、子育てサポートシステムを利用してみませんか。ご近所の提供会員さんの応援によって、あなたの不安が解消するかもしれません。まずは、子育てサポートシステム入会説明会にご参加ください。

子育て何でもトーク



うちの子の口癖・しぐさ

ラフママとは…ラフルールにきているママの略称です。

よく、テキストに替え歌を歌っている私。それを真似して、外で歌っていると恥ずかしいです。

一時期「もう、怒るよ！ブン！」と連発していた息子。あきらかに私の口癖です。「ブン！」は言っていないけどなあ…。

「そうなの??」と独特なトーンで相槌をうつ息子。あれ?どこかで聞いたなあと思ったら主人でした。(笑)

イタズラする弟に怒るお姉ちゃん、その怒りかた私と似てる…。



「おじさん」「おばさん」の区別がつかなくて、女性に「おじさん!」と呼んだ時は、血の気が引きました…。相手の方が笑って許してくれて、助かりました～。

「あのね、〇〇くんね～」と必ず自分のことをくん付けているわが子。今だけなので可愛いです。

「もうーちょっと～!」。ごはん中にお茶をこぼしたりした時に私が言っています。

(電話をかけるフリをして)「そっかあ～うんうん。バイバイ。ガチャ」言葉をおぼえてきたのでマネされて困ることか増えそう…。



ぬいぐるみを布団でくるんで背中トントンしながら寝かしつけします。



ご飯の支度をしようとするハイハイで追ってきて、足にまとわりつき…。ボールとホイッパーを渡すとニコッとする息子。一緒にしばらくはお手伝いしているつもりでカチャカチャやりました。

お人形遊びをしているとき、「はい、これで最後だから、アーンして」と言って食べさせていました。確かにわたしもそれを子どもに言っていたな～。



えほんのじかん

まゆとおに / 福音館書店
作：富安陽子 絵：降矢なな



やまんばの娘、まゆはある日、おにと出会います。お腹を空かせたおには、まゆを食べてやろうと森の奥に誘いますが…まゆには、とんでもない力があつたのです。古風な絵のタッチですが、可愛いまゆとちょっとドジなおにのやりとりに、昔話に慣れていないお子さんでも、楽しめますよ。

編集後記

去年の特集から一年。子どもも成長し身の回りの必要なものも変わってきました。今月号を機に防災グッズの見直しができたらと感じました。(yomogi)

息子に先日、「大好き」と言われた時、ドキッとしてしまいました。(笑)普段はほとんど話してくれないのですが、どうしたのか。「どうして?」と聞いたら、「なんとなく～」だそう。思春期で難しい年頃だけど、かわいい一面でした。(poco)